

2013 年度 地域における男女共同参画に関する研修事業  
 特定非営利活動法人全国女性会館協議会／京都市男女共同参画推進協会  
 <事業報告書>

事業名	男女共同参画社会は男性を救うのか？
趣 旨	<p>第3次男女共同参画基本計画で「男性にとっての男女共同参画」が位置づけられ、さまざまな取組が進められている中、男性が、「自分にとって男女共同参画社会は魅力的だ」と感じることのできる取組を推進するためには何が必要なのかを検討する。</p> <p>今回は「語る」ということをテーマに、内閣府の意識調査や、男性に対する相談体制マニュアル作成に携わった方に、「男性にとっての男女共同参画」について講演いただき、それを受け男性相談、女性相談の立場から男性と男女共同参画について意見を交換しあうパネルディスカッションを実施する。また、男性対象講座の成功事例をもとに分科会を実施し、ニーズのとらえ方、対象に届けるための働きかけ等について学び、2日間を通して自分たちの持っている課題について考え、男性にとっての男女共同参画を推進するための解決策や道筋を見出すことを目的とする。</p>
対 象	女性関連施設等の職員、自治体男女共同参画担当者、相談業務に関わる方、その他男女共同参画に興味のある方
開催日時	2013年10月24日（木）13：30～17：00 10月25日（金）10：00～13：00
内 容	<p>10月24日（木）</p> <p>【基調講演】 「男女共同参画社会は男性を救うのか？」 講師/伊藤公雄さん（京都大学大学院文学研究科教授）</p> <p>【パネルディスカッション】 進行/伊藤公雄さん パネラー/井上摩耶子さん（ウィメンズカウンセリング京都代表・フェミニストカウンセラー） 吉岡俊介さん（オフィスよしおか・産業カウンセラー）</p> <p>10月25日（金）</p> <p>【事例発表&amp;ディスカッション】 男性対象講座の成功事例</p> <p>①「男の生き方塾」 発表者/坂田静香さん（エセなおた理事長・全国女性会館協議会常任理事）</p> <p>②「男はつらいよ 働き盛り＊男の人生設計」 発表者/服部亜龍さん（フレンテみえ職員）</p>

<p>参加機関名</p>	<p>&lt;女性関連施設等&gt;          尼崎市女性センター・トレビエ          川崎市男女共同参画センター          京都府男女共同参画センター・らら京都          とちぎ男女共同参画センター          奈良県女性センター          彦根市男女共同参画センター・ウイズ          和歌山県男女共同参画センター・和歌山 e カンパニー</p> <p>&lt;行政関係&gt;          宇治市市民環境部人権政策室 男女共同参画課          京都市文化市民局共同参画社会推進部 男女共同参画推進課          京都市西京区役所洛西支所          京都府府民生活部男女共同参画課          神戸市市民参画推進局 男女共同参画課          南丹市役所人権政策室          和歌山県新宮市人権啓発課          和歌山県東牟婁振興局</p> <p>&lt;その他&gt;          大阪市男女共同参画のまち創生協会          京都 YWCA          滋賀医科大学男女共同参画推進課          日本産業カウンセラー協会          男性介護者を支援する会          男 悩みのホットライン          パープルウィング          びーらぶ京都</p>
<p>参加人数</p>	<p>10/24 77名 10/25 18名</p>
<p>参加者感想</p>	<p>別紙のとおり</p>
<p>主催者評価</p>	<p>「男性にとっての男女共同参画」について、男性が「語る」ということをテーマに参加者と一緒に考えた2日間であった。全体参加者は95名と多くの方々にご参加いただいたが、台風の影響もあり当日ご参加いただけない方もあり非常に残念であった。</p> <p>基調講演後のパネルディスカッションでは、男性、女性それぞれの相談の現状を報告していただくにとどまらず、DVという事象を取り上げた時、女性相談では被害者のサポートには被害者との地続き感の中でカウンセリングを行っているが、男性相談において加害男性に寄り添うことが可能なのか？という問いかけがあり、白熱したディスカッションとなった。また、相談者が抱える「生きにくさ」においても、男性中心社会の中での男性の生きにくさと、女性の生きにくさの違いについても意見が交わされるなど、相談業務ひとつを例にとっても、「男性にとっての男女共同参</p>

画」を推進していくためには、立場の違う方々を交えて語り合う場が必要であると再確認できたシンポジウムであった。

2 日目の分科会は、分科会のひとつをご担当いただく講師の方が急きょご参加いただけなくなり、残り 2 つの分科会を合体させて事例発表会とした。幸いご参加いただいた方々には二つの事例をお聞きいただける内容となり喜んでいただけたが、参加者が少なく貴重な好事例をもっと多くの方々と共有できなかったのが残念であった。

アンケート結果では全体の 7 割が大変満足・満足と回答いただいたが、今回「相談」に特化した内容であるにもかかわらず、相談関連の方々の参加が少なかったように思う。女性関連施設や行政以外にも「相談」というカテゴリーで絞り込んだ対象にむけた広報をすべきであった。また、この地域研修は遠方からお越しの方々のスケジュールも考え 2 日間としているが、実質研修に使える時間は 1 日なのでまとめて 1 日で実施するほうが効果的であるかもしれない。

今回地域研修という形で男女共同参画推進に携わる皆さんと一緒に学ぶ機会を得られたが、今後は担当者同士のネットワークも構築し、さまざまな問題について発信し、皆さんと一緒に考える場を提供していきたい。

## 2013 年度 地域における男女共同参画に関する研修事業参加者アンケート集計

事業名	男女共同参画社会は男性を救うのか？
参加人数	10月24日（木） 77名 10月25日（金） 18名
アンケート結果 （回収 44 件）	<p>◆シンポジウム 大変満足（13） 満足（15） 普通（6） やや不満（0） 不満（1） 未記入（3）</p> <p>◆事例紹介 大変満足（5） 満足（0） 普通（0） やや不満（0） 不満（1） 未記入（1）</p>

### 事業についての感想

#### <シンポジウム>

- ・ 男性は、男性優位のこの日本社会で、自分たちの特権を手放さない（それに気づいてもない人も）。世界的に見ていかに日本の男性の意識が遅れているか、男性自身によく考えてもらいたいし、このイベントがそのきっかけになっていただきたいと思います。吉岡さんのような男性の増加、大歓迎です！
- ・ 日本が、このままの状態を続ければ、（最近ますます悪くなる傾向にあるといってもいいかもしれません）本当にダメになってしまうという危機感を強く感じました。誰もが男女共同参画に真剣にとり組まなければいけないと思います。井上先生、吉岡先生のお話も現在の自分にとってもあてはまる事で、もっとお話を聞きたいです。
- ・ 「男性にとっての男女共同参画」について関心があったが、自分なりに一応の理解は出来るので今日は大満足である。吉岡氏のお話は、男性相談の現実的な話であり、よく理解できた。井上氏のお話は、根本的な問題であることもよく理解できた。今の私にとって考えさせられる大きな課題である。
- ・ 井上先生のはっきりとした回答に、心の中がすっきりしました。このすっきり感は、男性には理解が出来ないと思いますが、この点が日本社会で大きな問題であるのかと感じます。
- ・ 女性・男性の目線の違い、相談を受けることの難しさを改めて感じました。DV以外の問題についても、もっと聞きたいと思いました。
- ・ せっかくの企画なので平日ではなく、土日にまたは夜間に催すべきではないか。もっと多くの男性の参加しやすい形を考えるべき。このチラシを見た多くの知り合いの男性たちは仕事があって、なかなかいけない・休めないとのこと。こうした声を生かさないといけないと思う。

- ・ グローバルジェンダーギャップの指数の評価内容の説明がわかりやすかった。男性、女性がおかれている現状や これまでの経験が異なる。同じ対応をすることが男女平等ではないことが理解しやすかった。吉岡さんのお話は、男性にとっての男女共同参画の必要性を実体験した貴重な話で良かった。
- ・ 男性相談の窓口を開設しただけでは、ダメだということを実感した。そして、そこを乗り越えるためには、意見を出し、議論を言いながら進めることしかないとわかるような内容でした。
- ・ 男性はやはり男性によるカウンセリング。女性は女性による…が本当に必要だと思えた。今まではそれほど感じていなかった。でも、女性の被害がけた違いにひどいので、女性被害者、女性貧困者に対してもっともっと行政の手助けをしてほしいと思います。
- ・ 男性が問題とするところと女性が問題とするところが違う。だから男性相談もまた必要なのだと思う。でも女性の方が深刻なことがわかる。そしてお互いがまた寄り合って話し合うことで、いろいろなことがよくわかってきたと感じた。
- ・ 根本的に女性の抱える問題と男性の抱える問題の違い よく分かりました。やっぱり井上先生はスゴイです。こういうディスカッションをすれば、現代の社会の抱える問題が、こんなに男女ですれ違っているという事実がよく見えました。そして、このディスカッションをまとめてくださった伊藤先生もさすがでした。
- ・ DV、セクハラ等を背景にした男性の意識改革（覚醒）が、男女共同参画社会の実現には必要であることを改めて認識した。
- ・ 伊藤公雄先生のお話 勉強になりました。欧米諸国との比較、歴史もふまえてのお話。その中で日本での到達、現在の事が男女共同参画というテーマで詳しく 又 わかり易くお話されていたと思います。
- ・ 女性相談（フェミニストカウンセリング）と男性相談の違いがよくわかった。男性相談は、自分の意識を変えることで対応できそうに思ったが、女性相談の方は、自分の意思自体を尊重してもらえないので、自分だけの意識を変えることでは対応できないのではと思った。
- ・ パネルディスカッションは、DVの話に終始したので、もっと広い範囲での話が聞ければ良かったと思う。
- ・ 伊藤先生のお話を拝聴できて良かったです。違った立場からの考え方捉え方がうかがえて面白かったです（地続き感の話）

#### <分科会>

- ・ 発表者お二人の事例が大変わかりやすくとっても勉強になりました。
- ・ 2日目は台風で参加できない人が多い。再企画してください。
- ・ 男性を集客するためには「自分事」として捉えてもらうことが大切だと思った。（講座タイトル「妻が倒れた、さあどうする」など）
- ・ 企画内容がさほど変わらないのに集客に差がでる「ことばの使い方」に興味を持ちました。
- ・ DVD で見た企画員の方々と講座を作っていく過程は大変参考になりました。